

## 単元デザイン（ 2年 家庭科 ）

題材名 C衣生活・住生活と自立 1住生活と自立 （7時間扱い）

### 題材について

住まいは生活の基盤となるものであり、私たちの健康はもちろん精神的にも大きく支えてくれるものである。長い時間を過ごす場所であるからこそ、安全にそして快適に生活していく環境を整える必要がある。今までは周りの大人たちにやってもらってきたことも、中学生ともなれば自分で過ごしやすい環境を作り出すことができるのである。近年多発している大規模な自然災害に対する備えや地域の人々とのかかわりの大切さにも目を向けさせながら、自分たちにできることは何かを考えさせていきたい。

### 題材の指導目標

住居の機能と住まい方に関する学習を通して、自分や家族の住空間に関心を持ち、住居の基本的な機能や安全に配慮した室内環境の整え方を知るとともに、安全で快適な住まい方を考え具体的に工夫できるようにする。

### 題材の評価規準

- ①安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている（生活や技術への関心・意欲・態度）
- ②安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している（生活を工夫し創造する能力）
- ③住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている（生活や技術についての知識・理解）

### 題材の計画

時間	本時の学習課題	対話的な活動	本時の振り返り	本時の評価規準
1	・住まいのはたらきについて考えよう	・住まいに求める条件について、意見を出し合う。家庭内で行われている生活行為について、確認する。	・本時の授業の感想を記入する。	・住まいのはたらきには、精神的なはたらきと機能的なはたらきがあることが分かったか。(知識) ・住まいに必要な空間についての分類ができたか。(知)
2	・心地よい住まいをつくりあげよう	・誰がどの部屋で生活するのがよいか、なぜその部屋がよいか意見交流する。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・家族が心地よく住むためにはどんな工夫をすればよいかを考えることができたか。(生活を工夫し創造する能力)
3	・住まいの空気汚染を減らし、快適な空間をつくりあげよう (本時)	・カビやダニの発生を防ぐためにはどのようにすればよいか意見交流する。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・健康に配慮した住まい方について工夫することができたか。(生活を工夫し創造する能力)
4	・安全な住まいをつくりあげよう	・安全に住むためにはどの様にすればよいか意見交流する。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・家庭内の事故の種類とその原因がわかったか。(知識) ・家族の安全を考えた住まい方を工夫することができたか。(生活を工夫し創造する能力)
5	・自然災害に備えて住まいの安全対策を考え、「災害の備えがある地域」をつくりあげよう	・家庭内でできる災害への備えについて意見交流する。 ・実際に被災した際、少しでも快適に生活していくための工夫を出し合う。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・自分の家に合った安全管理の工夫することができたか。(生活を工夫し創造する能力) ・地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について意見をまとめることができたか。(工夫) ・自分の家に合った非常用持ち出し品や安全確保の方法を考えることができたか。(知識)
6	・住民同士が暮らしやすい地域をつくりあげよう	・生活騒音を少なくする工夫を出し合う。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・生活騒音を減らす方法や工夫を考えることができたか。(工夫) 近隣や地域に配慮した住まい方について工夫することができたか。(生活を工夫し想像する能力)
7	・限りあるエネルギーを大切にする住まい方について考えよう	・生活の中でできる省エネルギーにはどのようなものがあるか話し合う。	・本時の授業内容から、自分や家族の生活に活かしていくことをまとめる。	・具体的な省エネルギーの取り組み方を考えることができたか。(生活や技術への関心・意欲・態度)

本時のねらい 健康に配慮した快適な住まい方について工夫することができる。

時間	学習活動	指導上の留意点・授業スタイルとの関わり
<p>導入 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に学年全体に対してとった掃除に関するアンケートの結果を見せる。</li> <li>・カビやダニを見る。</li> <li>● (本時の学習課題)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>住まいの空気汚染を減らし、快適な空間をつくりあげよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの現状を知り、自分と照らし合わせる。</li> <li>・普段生活している中ではあまり見えていないものを見ることで、問題意識を高める。</li> </ul>
<p>展開 33分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カビやダニの発生条件とその健康被害について知る。</li> <li>・カビやダニが発生しやすい場所に印をつける。</li> <li>・カビやダニの発生を防ぐ方法を考える。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>● (対話的な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カビやダニの発生を防ぐ方法を出し合い、グループ毎にまとめる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループの考えを発表する。</li> <li>・カビやダニの発生を防ぐ効果的な方法の例を演示する。 カビ (水滴の除去・除湿)    ダニ (掃除機のかけ方) ※カビやダニの発生を防ぐのに効果的な方法である換気の必要性について確認する。</li> <li>● (学習課題のまとめ)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>カビやダニが発生する条件を取り除き、効果的な換気を行うことで健康に配慮した快適な住まいを作ることができる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の間取りを見て、カビやダニが発生しやすいような場所を色分けしてシールを貼る。</li> <li>○カビやダニの発生を防ぐ方法を考える (個)</li> <li>・発生条件と発生場所を考慮し、何をどのように (道具等の使用方法など) したらよいかを具体的に考える。</li> <li>○お互いの考えを出し合い、共有する (対話)</li> <li>・カビ・・・水滴の除去方法、除湿グッズの紹介 ダニ・・・掃除機のかけ方 自然換気と換気扇などの人工換気による空気の流れを見ることで換気の必要性に気づかせる。</li> </ul>
<p>振り返り 7分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の振り返り</li> <li>・今日の授業を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返り (個)</li> <li>・本時の学習を通して考えたこと、今後、生活の中で実践してみたいことなどを記入させる。</li> </ul>

本時の評価

・健康に配慮した住まい方について工夫することができたか。(生活を工夫し創造する能力)